Voice

「ヴォイス」

みよし市では、市民の皆さまからの市政に対する意見を久野知英（くのともひで）市長が直接お聴きする「市長とのふれあい座談会」を開催したり、提言箱や電子メールなどを通して「皆さまの提言」をいただいたりすることによって「心の通う対話とガラス張りの市政」を進めていこうと努めています。

このコーナーでは「市長とのふれあい座談会」で寄せられた意見と市長の発言要旨や「皆さまの提言」、ホームページのお問い合わせに寄せられた意見のうち、主に生活にかかわる内容の意見などを要約・集約したものと回答を紹介しています。

今回は「皆さまの提言」に寄せられた意見の要旨と、それに対するみよし市としての考え方を抜粋して紹介します。

皆さまの提言

意見（ホームページのお問い合わせ）
うさぎっこ広場（保健センター内）について

わたしには1歳と3歳の子どもがいて、平日に市内で遊べる場所を探しています。うさぎっこ広場では、子どもが遊べるおもちゃは置いてありますか。または各自で持参した方がよいでしょうか。

答え（担当 保健センター・子育て支援課・子育て支援センター）
会場におもちゃを用意しています

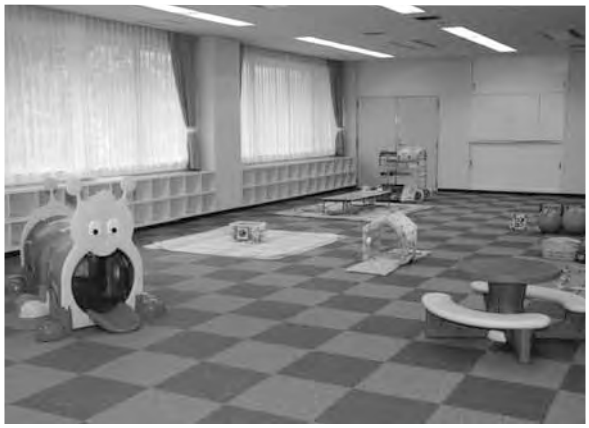
みよし市保健センター内の一室を開放して毎月1回、0歳から3歳までの子どもとその保護者を対象に「うさぎっこ広場」を開催しています。会場には子どもたちが遊べるようにままごとセットやレールで遊ぶ電車などいろいろなおもちゃや遊具を用意していますのでお気軽にお越しください。

そのほかに保健センターではそれぞれの年齢の子どもを対象にした健診や教室を開催しています。また、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師、心理相談員などの相談も併せて実施しています。各健診や教室、相談の開催日は広報みよしの毎月15日号に掲載されている「保健ガイド」をご覧ください。

また、わかば保育園や黒笹保育園をはじめ市内5カ所の保育園内に併設された各地区子育て支援センターでは、電話や面接による「子育て相談」、わらべうたあそびなどをして遊ぶ「あかちゃんルーム」や支援センターの職員が児童館や地域の公園で絵本の読み聞かせをする「出前ふれあい広場」などを実施。そのほか市内10カ所の保育園では園児が遊んでいる時間帯に園児たちの歓声の中で遊ぶことができるよう空いている保育室や園庭の開放を実施しています。

みよし市では、こうした子育てに悩みや不安を持っている保護者の相談を聞いたり、保護者同士の交流の場や子どもたちの触れ合いの場にしてもらうためのさまざまな取り組みを実施しているほか、自分たちで友だちの輪を広げる自主サークルへの支援も行っています。

子育てに関する情報、教室などの対象者や会場、予約方法などの詳細について



▲うさぎっこ広場では、会場にいろいろなおもちゃを用意しています

7月5日(月)午前8時から、コミュニティーFM、ラジオ・ラブィート(78.6MHz)の「みよしモーニングニュース」で、久野市長がコラムの内容を話題に生出演します。

連載第85回

コラム Column

全国市長会議に出席して

市になって6カ月足らずのうちに、全国を始めとして、東海ブロック、県内、そして西三河ブロックの市長会議が開催され、それぞれの会議の中で仲間入りの紹介をされました。6月9日に開催された、全国市長会議の当日には壇上でわが市のPRをさせていただきました。今年1月から全国市長会議までの間に市制を施行したのは新たに8市。みよし市は全国に809ある市の中で803番目の市となりました。今後も増加の傾向にあり、中央集権から地域主権へと権限がどんどん移行してくると思います。基礎自治体としてしっかりとした体力を蓄えることが必要。職員においても県内の部長会議や課長会議、担当レベルでの研究会などにより、多方面から情報の収集ができるようになるなど、成長していける土台はできつつあります。

今回の全国市長会議では、国への要望決議や、特別講演会が開催されるなど大変有意義な会議でした。講演は東京大学名誉教授の月尾嘉男(つきおよしお)先生が「環境問題への都市の挑戦」と題して、プロジェクターを使って説明。地球は奇跡の惑星から始まり、人類が誕生し数限りなく自然のものを奪ってきた。それが鉱物であり、石油であり、森林であり、淡水であり…。そして地球の限界をはるかに超えてしまった人口。適正な人数は48億人といわれており、現在の65億人では過剰なため飢えで苦しむ人がいるのは必然だ！　と警鐘を鳴らします。しかもそこには配分の矛盾があり、世界では栄養過多の人間が11億5千万人いる反面、栄養不足の人が10億2千万人います。そして年間950万人が飢えにより亡くなるという現実。アメリカでは1日13万トン、日本全体でも1日5万トンの食料が廃棄されている一方で、世界全体の食料援助は3万トンという矛盾。そのほかには地域の再編から伝統の再考、環境価値の再考、地産地消(ちさんちしょう)の拡大など幅広い提言もありました。すべての事を書けないのが残念ですが、日本でもできるだけ近いところで食べるものを調達して食料自給率を上げることが急務。

遠くオマーンの砂漠で作られたレタスを日本が輸入するとか…そんな話は正直たくさんだと感じました。

みよし市長 久野知英

意見（ホームページのお問い合わせ）ホームページ上の市役所開庁時間について

みよし市のホームページで市役所の利用時間(開庁時間)が掲載されていませんでした。わたしは普段、市役所を利用する機会が少ないので、常識的なことなのかもしれませんが、検索しても出てこないため、とても不便に感じました。

答え（担当　秘書広報課広報広聴係）トップページの最下段に追加しました

この提言をいただいたときにはホームページ上に市役所の開庁時間の記載がなく、大変ご迷惑をお掛けしました。早速、トップページの最下段に開庁時間を追加しました。今後ともわかりやすいホームページを目指して、より多くの皆さんに利用していただけるように努めてまいります。また、市役所以外の施設の利用時間や休館日などの情報はトップページ下段右側の「施設案内」や毎号の広報みよし「お知らせコーナー」に掲載していますのでご確認ください。

は子育て支援課と子育て支援センター発行のみよし市子育て情報誌「わくわくガイドマップ」をご覧ください。

皆さまからの提言をお待ちしています

みよし市では、心の通う対話とガラス張りの市政を進めていこうと、市政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。そのほか、下記①から③のいずれかの方法でも受け付けています。

▶**提言箱設置場所**＝市役所、サンネット、サンアート、市民病院、総合体育館、中央図書館

①電子メール…✉teigen@city.aichi-miyoshi.lg.jp

②ファクス…FAX(34)6008

③郵便…〒470-0295 みよし市役所秘書広報課あて(住所不要)

携帯電話からメールで提言できます

※皆さんからいただいた提言は、市全体に対する提言としてとらえ、個別の回答はしません。みよし市ホームページ(http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp)の各ページ下部にある各担当課への「お問い合わせ」フォームをご利用いただいた問い合わせに対しては、担当課から直接回答させていただきます。**秘書広報課☎(32)8357**